

福井県越前市の概要

【R5.4.1現在】

- 人口：80,337人（うち外国人4,514人）
- 世帯：31,295世帯（うち外国人2,700世帯）
- 面積：230.70km²
- 高齢化率：29.6%
- 出生数：569人（R4）

- | | |
|-----------------------|--------------|
| • 利用者支援事業（子ども） | 2か所（委託1、直営1） |
| • 地域子育て支援拠点 | 5か所（委託） |
| • 地域包括支援センター | 6か所（委託） |
| • 障がい者基幹相談支援センター | 1か所（直営） |
| • 障がい者相談支援事業所 | 2か所（委託） |
| • 生活困窮者自立相談支援機関 | 1か所（委託） |
| • 自治振興会（小学校単位の地域自治組織） | 17地区 |

越前市の相談支援体制の課題

○支援を要する市民の状況

- ・「相談」にたどりつくまでに「重症化」している。
- ・年齢や相談内容によって担当機関が異なり情報がつながりにくい。
- ・公的なサービスを利用しなくなると支援が途切れる。
- ・地域との関係が希薄で、ひきこもり等が把握できず、潜伏・重症化。

○行政課題

- ・担当者が異動し、培った経験と支援力が継続できない。
- ・職員の専門性と継続性が求められる重篤な相談支援業務に対応できていない。
- ・縦割り行政により、横断的な相談支援ができない。

越前市の相談支援体制の再構築

令和2年度 部内プロジェクトチーム発足
包括相談窓口のあり方を検討

案1: ワンストップ型(丸ごと相談窓口)

ワンストップで受けた1人の相談員がすべての機関を網羅し
コーディネートする

⇒ スーパーマン



越前市はこちらを採用

案2: 連携型(分野ごと相談窓口)

まず、各分野ですべての相談を受け止め、分野を超えた課題に
ついては各分野が連携して対応

⇒ チームアプローチ

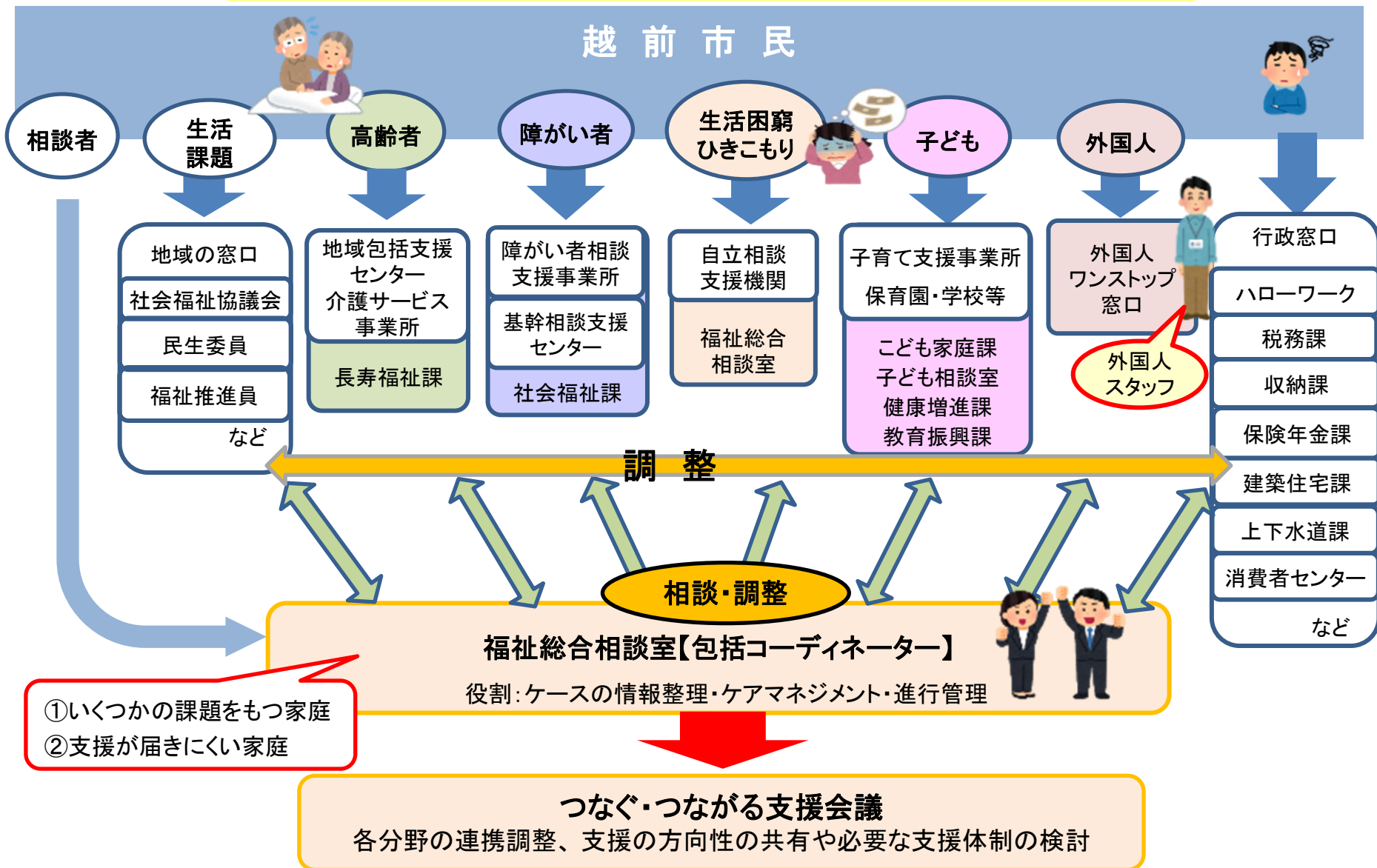
つなぐ・つなげる相談窓口 「福祉総合相談室」の誕生

つなぎ役配置型（包括コーディネーターの配置）

- ・複合的かつ多様な課題を抱える家庭や制度の狭間にある家庭の支援
- ・複合的な課題を抱えた市民からの直接の相談にも応じる

各部署の窓口、担当課でそれぞれに対応するのではなく、総合的に把握しながら、支援を考える会議の中で家庭全体の支援の方向性や役割分担をコーディネートする

つなぐ・つながる相談支援体制



越前市における重層的支援体制整備事業のイメージ

